

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。まわりに登録されていない方がおられましたら、ぜひ登録をお勧めください。

【技術普及課からのお知らせ】

☆令和7年11月13日（木）「国内資源肥料フォーラム in 北陸（入場無料）」が
開催されます！

☆「令和7年度 病害虫発生予報第8号」（令和7年10月8日(水)付け）を発表しました。

☆「令和6年地球温暖化影響調査レポート」を公表しました。

☆「農山漁村」の課題解決に資する企業とのマッチング希望の自治体等（協議会、観光協会、商工会議所等を含む）を募集します！

☆「ノウフクの日記念イベント 2025」を開催します！

☆受講のご案内：加工・業務用野菜の省力化・低コスト化生産技術コース

☆ 〈みどり戦略技術紹介〉 飼料残量管理ソリューション

=====

=====

農業支援サービス協会は、「請負防除事業者の全国団体として活動する中で培

ったノウハウをもとに、農業支援サービス事業者の全国協議会を構築し、農業者の経営発展や生産性向上を支援する農業支援サービス事業者の育成及び支援を図り、農業支援サービスにかかわる者の舞台づくりを行う。」とし、この度、設立式典が令和7年10月20日（月）にJA共済ビル「カンファレンスホール」及びオンラインにて開催されます。

本式典では、サービス事業者や関連事業者、関係機関が集まり、新協会の活動に関する説明や基調講演、例発表のほか来場者による交流会が実施されます。参加をご希望の方は、以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

日時：令和7年10月20日（月）15時～16時30分（交流会17時～19時）

会場：JA共済ビル「カンファレンスホール」 及び オンライン

内容：基調講演、事例発表、交流会等

主催：（一社）農林水産航空・農業支援サービス協会

▼詳細はこちら（外部リンク）

農林水産航空・農業支援サービス協会 HP

<https://www.j3a.or.jp/>

※お問い合わせ先

（一社）農林水産航空・農業支援サービス協会（03-3234-3380）

◆令和7年11月13日（木）「国内資源肥料フォーラム in 北陸（入場無料）」が開催されます！

農林水産省では、国内資源（家畜ふん堆肥、下水汚泥資源、食品残渣等）の肥料利用の拡大を目指し、肥料関係者間のマッチング機会の提供、先進事例の発信等、全国各地における国内肥料資源の利用拡大に向けた種々の取組を行っています。

この度、令和7年11月13日（木）に朱鷺メッセ（新潟県新潟市）にて、「国内資源肥料フォーラム in 北陸」が開催されます。

本フォーラムでは、肥料原料供給事業者、肥料メーカー、肥料利用者等が一堂に会し、基調講演や取組事例の紹介のほか、約40団体がパネル出展を実施いたします。ご興味のある方はどなたでも、無料でご来場いただけます。ご来場を希望される方は、以下公式HPより事前登録をお願いします（当日参加も可）。普及指導員の皆様におかれましても、ご参加及び関係者への周知のほどよろしくお願い致します。

日時：令和7年11月13日（木）13時～16時30分（12時45分受付開始予定）

会場：朱鷺メッセ メインホール

内容：基調講演、事例発表、約40団体のパネル出展、相談窓口等

主催：株式会社マイナビ

※本事業は令和7年度「国内肥料資源利用拡大対策事業」として運営しています。

▼詳細はこちら（外部リンク）

マッチングフォーラム公式HP（参加申込締切：11月12日まで）

<https://agri.mynavi.jp/hiryo-forum/hokuriku/>

※お問い合わせ先

（株）マイナビ 地域活性 CSV 事業部（03-6267-4019）

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

=====

◆「令和7年度 病虫害発生予報第8号」（令和7年10月8日（水）付け）を発表しました。

【消費・安全局 植物防疫課】

=====

農林水産省は、今後の水稻の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第8号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所等と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○今後発生量が多くなると予想される主要な病虫害及び地域

・豆類では、大豆の吸実性カメムシ類の発生が、甲信、東海及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

・野菜・花きでは、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びハスモンヨトウの発生が、関東、近畿等の複数の地域の一部で多くなると予想されています。

・果樹カメムシ類の発生が、北関東、東海及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、ねぎのアザミウマ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

○「令和7年度 病虫害発生予報第8号」の発表について（令和7年10月8日付け農林水産省プレスリリース）はこちらから

※ 都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/251008.html>

○都道府県の病虫害発生予察情報などはこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

（担当：岡田、城野、古澤）（03-3502-3382）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆「令和6年地球温暖化影響調査レポート」を公表しました。

【農産局 農業環境対策課】

=====

農林水産省では、各都道府県の協力を得て、令和6年1月～12月を調査対象期間とした地球温暖化に伴う農業生産への影響等を調査し、普及指導員や行政関係者の参考資料として「令和6年地球温暖化影響調査レポート」を取りまとめ、公表しました。

水稻をはじめ、果樹、野菜、花き、家畜等における主な影響、各都道府県の温暖化への適応策の取組状況等を掲載しています。

普及指導員の皆様におかれましては、これらの情報を是非、生産現場での適応策等の普及指導活動にご活用ください。

▼詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/ondanka/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 農業環境対策課

(担当：神、福田) (03-3502-5956)

◆知財初級者のための農業知財基礎セミナー実施のお知らせ

【公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会】

農林水産・食品分野における知的財産の基礎をオンラインで学ぶことができる「知財初級者のための農業知財基礎セミナー」を実施しています。

本セミナーでは、開発・生産・販売等の様々な事業の段階毎に科目を作成しており、これらと関わる知的財産を皆様の業務とも関連させながら学ぶことができるものとなっています。

また、Eラーニングシステムを使用したオンライン学習のため、好きなタイミングで受講いただけます。

普及指導員の皆様におかれましては、本セミナーを現場へ周知いただくとともに、ご自身の知的財産学習にぜひ活用ください。

▼詳細はこちら (外部リンク)

<https://www.jataff.or.jp/project/chizai/index.html>

【開催方法】Eラーニングシステムを使用したオンライン学習
(無料、1科目約30分程度、全10科目)

【対象】普及指導員、地方公共団体知財担当者、JA担当者、農業事業者 等

※お問い合わせ先

公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会

(JATAFF) イノベーション事業部 (03-3509-1161)

農林水産省 輸出・国際局 知的財産課

(担当：中西、岸) (03-6738-6442)

◆「農山漁村」の課題解決に資する企業とのマッチング希望の自治体等(協議会、観光協会、商工会議所等を含む)を募集します！

【農村振興局 農村計画課】

今般、(株)タイミー、サグリ(株)やEF Polymer(株)等による、農業における人口減の対応と生産性向上等の農山漁村の課題解決に貢献する11社の企業の取組(「農山漁村」インパクト創出ソリューション)を選定し、本年7月に公表

しました。

今後、今回選定された取組が各地で実装されるよう、農林水産省や選定事務局による自治体等とのマッチング支援及び事業化に向けた伴走支援を行います。

現在、マッチング希望の自治体等を本年 12 月 15 日(月)まで募集しております。募集フォームは以下詳細のとおり農林水産省HPに掲載しております。

普及指導員の皆様におかれましては、貴都道府県の応募ご検討のほか、幅広い周知にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

▼詳細はこちら

「農山漁村」インパクト創出ソリューション実装プログラム

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanmin_kyousou/matchmaking/impacts.html

選定取組一覧（事業内容や自治体との共創に関するイメージ等を掲載）

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanmin_kyousou/matchmaking/attach/pdf/impacts-2.pdf

※お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 農村計画課 農村活性化推進室

(担当：安居、刀井) (03-6744-2141)

=====

◆農業現場におけるクマ類の出没及び人身被害防止等に対する指導等の徹底について

【農村振興局 鳥獣対策・農村環境課】

=====

近年、クマ類の分布が拡大しており、今年度は東北地方を中心に市街地や集落など人の生活圏へのクマ類の出没が相次ぎ、人身被害が多発しています。

クマ類は冬眠に入る前の 10 月から 11 月にかけて、餌を求めて人里近くまで行動圏が拡大すると一般的にいわれていることから、出没についてより一層の注意が求められます。

今後、農業現場において収穫期を迎えることから、クマ類との遭遇を避けるため、農作物の収穫残さや放置された果実等の誘引物の除去など、クマ類への注意・対策が必要であり、農林水産省から各都道府県あてに通知したところです。

普及指導員の皆様からも農業者等への指導及び注意喚起の徹底について、ご指導の程よろしくお願いいたします。

○農林水産省作成リーフレット「クマにご注意下さい！」

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuuikanki/attach/pdf/index-12.pdf>

○農林水産省から都道府県あての注意喚起の通知

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuuikanki/attach/pdf/index-14.pdf>

○環境省 WEB サイト「クマ類の出没対応マニュアルー改定版ー（外部リンク）」

<http://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/index.html>

○環境省 WEB サイト「クマに関する各種情報・取組」（外部リンク）

<http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/effort12.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 鳥獣対策・農村環境課

(担当：高木、藤邑) (03-6744-7642)

◆「ノウフクの日記念イベント 2025」を開催します！

【農村振興局 都市農村交流課 農福連携推進室】

農林水産省では、これから農業を志す方や、若手農業者、農福連携関係者等を対象とした「ノウフクの日記念イベント 2025『11月29日はノウフクの日！～聞いて、知って、食べて農福連携～』」を12月1日（月）に都内会場で開催します。会場にて、農福連携に関する講演とトークセッションの他、農福連携製品の試食や展示も行います。また、オンラインでも配信いたします。

普及指導員の皆様におかれましては、各地の若手農業者や農福連携に取り組んでいる方々に対し、積極的なご案内をよろしくお願いいたします。

▼詳細はこちら（外部リンク）

<https://x.gd/RITNi>

日時：12月1日（月） 13時～17時

会場：ベルサール虎ノ門

（東京都港区虎ノ門2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー 2F）

共催：一般社団法人日本農福連携協議会、株式会社インサイト、
農福連携等応援コンソーシアム、農福連携全国都道府県ネットワーク

※お問い合わせ先

一般社団法人日本農福連携協会

メールアドレス：info@noufuku.or.jp

農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 農福連携推進室

(担当：原) (03-3502-0033)

◆飼料用米、WCS用稲、飼料作物の生産者・利用者等へのアンケート調査について

【畜産局 飼料課】

農林水産省は、令和9年度以降の水田政策の見直しにおける飼料用米、WCS用稲、飼料作物に対する支援の在り方の検討にあたって、各作物の利用者と生産者、また再生協議会の皆さまに、生産と利用の状況や今後の意向をお聞きするアンケート調査を実施します。

調査期間：9月16日（火）～10月31日（金）

現場の皆さまの声をお聞かせいただきたく、普及指導員の皆様におかれましては、関係者への周知をよろしくお願いいたします。

▼回答フォームはこちら（外部リンク）

1) 利用者向け：<https://www.net-research.jp/1287424/>

2) 生産者向け：<https://www.net-research.jp/1287939/>

※1) 利用者向けと2) 生産者向けは、異なるアンケート項目となります。
飼料生産に取り組まれている畜産農家の方には、お手数ですが、1)と2)両方のアンケートにご回答いただくよう周知をお願いいたします。

▼詳細はこちら

○飼料用米、WCS用稲、飼料作物の生産・利用に関するアンケート調査

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/l_siryo/250919.html

※お問い合わせ先

農林水産省 畜産局 飼料課

(担当：野中、中村、梶山、山野) (03-3502-5993)

=====

◆受講のご案内：加工・業務用野菜の省力化・低コスト化生産技術コース

【農林水産研修所 つくば館】

=====

農林水産研修所つくば館は、下記の日程で令和7年度加工・業務用野菜の省力化・低コスト化生産技術コースを水戸ほ場にて開催します。

本研修では、外食産業等で近年需要の増大している加工・業務用野菜の機械導入による低コスト化を目指す最新の技術や動向等を実演を交えながら学べるカリキュラムを用意しています。実演する機械は、ハウレンソウなど軟弱野菜の加工向け専用収穫機、キャベツ収穫機等を予定しています。

普及指導員の皆様におかれましては、ご参加及び関係者への周知のほどよろしくお願い申し上げます。

研修月日：令和7年12月4日（木）～5日（金）

申込期限：令和7年11月20日（木）

募集定員：10名

※定員を満した場合には受付を終了する場合があります。

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/kensyu/pdf/07_kakou.pdf

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tukuba/mito/zyuko/app.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産研修所つくば館

(農業機械研修担当) (029-839-9481)

=====

◆〈みどり戦略技術紹介〉 飼料残量管理ソリューション

【政策課 技術政策室】

=====

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様
に役立つ技術をご紹介します。

今回は、飼料残量管理ソリューションについてです。

